

いいところ探偵

中学校 3 年生

I アクティビティーについて

ねらい

自己肯定的なキーワード群を手がかりに自分や友人のよさを再確認する活動を通して、自己尊重の感情を育てるとともに、積極的に行動する意欲をはぐくむ。

◆◆◆視点◆◆◆

- ◎自己尊重の感情
- 人間の尊厳・価値の尊重
- コミュニケーション能力

設定の理由

この発達段階の生徒には、他の生徒たちと比較して自分を過小評価し、自己否定的になりがちであり、自分のよさを素直に認め、適切に表現することがうまくできない傾向が見られる。

そこで、それぞれの長所を探し合い、自己及び他者を再認識させる学習活動に取り組みさせることで、肯定的な自己理解を深めさせるとともに、自己尊重の感情を育成したい。

アクティビティーの概要 (2時間扱い)

活動1 「いいところ探偵」を行う。 事前(1週間程度)
・キーワードを基に友だちのよいところを探し、記録する。



活動2 自分の長所を考えよう。 1時間
・自分から見た自分のよいところと、他の仲間から見た自分をそれぞれ意見交換する。



活動3 前時のものを参考にして、自己PR文を作成、発表する。 1時間

アクティビティの実際

- 準備するもの
 - ・ワークシート

- アクティビティの進め方

活動1 いいところ探偵（1週間程度）

- ① あらかじめ4人程度のグループを作る。各自にそのグループ内の他の一人の生徒の名前を知らせ、そのメンバーのよいところを探すように指示する。
- ② キーワード（20項目程度）を教室に掲示し、それをもとに友だちのよいところを探し、報告書に記入させる。それぞれが対象とする仲間の行動や発言を注意深く見るようにさせる。
- ③ 毎日、帰りの会に記入時間をとる。落ち着いて記入させる。
- ④ 最終日に報告書を提出させる。書いていない場合には支援する。

活動2 自分の長所を考えよう

- ① 自分のよいところを探す。
 - ※できない生徒には、教師がその生徒の長所を一つ挙げてやるなどのかたちで支援する。
- ② 「いいところ探偵」で調査した報告書を教師がまとめ、本人に伝える。
 - ※ 無記名にして、誰に探してもらったのかわからないようにする。
 - ・落ち着いた雰囲気を読ませる。
 - ・誰が書いたかではなく、自分のことをもう一度考えさせる。

<ふり返りの留意点と発問例>

- どう感じたか正直に書くように促す。（十分に時間をとる）

発問例

感じたことを発表しましょう。このときにマイナスのイメージを持ったとしても正直に思ったことを話してください。

発問例

同じように感じた人はいますか。違う感じ方をした人はいますか。

発問例

友だちのよいところを探しているとき（探してしてもらった）、どんな気持ちを持ちましたか。

活動3 自分のよいところを発表しよう

- ① 自分で意識している長所と新しく発見した長所を参考に自己PR文を作る。
- ② 落ち着いて発表させる。
- ③ 30秒スピーチをする。
・発表後の気分を聞く。

アクティビティを指導するポイント

- ◇ グループづくりでは、クラスの現状を踏まえてグループをつくる。教員が4人程度のグループをつくり、本人以外には知らせない。
- ◇ 発表は、自分の長所を発表するための手段とする。しかし、生徒の状況により発表できない生徒を配慮をする。

II 授業展開例

～中学校3学年「学級活動」における授業展開例～

時	学 習 活 動	教師の働きかけ
事前 1 週 間 程 度	い い と こ ろ 探 偵	
	1 キーワードをもとに友だちのよいところを探し、報告書に記入する。 <キーワード>	○友だちをよく見て、よいところを探すように指示する。 ○誰が誰を見ているかは教えない。 ○どうしてもわからない場合は、取材をしてもよい。 ○キーワードを教室に掲示する。 ○1人につき、最低2つは探すようにする。
	①責任感のある ②まじめな ③公平な ④根気強い ⑤心配りができる ⑥落ち着きのある ⑦親切的な ⑧礼儀正しい ⑨正直な ⑩素直な⑪決断力のある ⑫頼りになる ⑬思いやりのある ⑭優しい ⑮誠実な ⑯てきぱきとした ⑰協力的な ⑱地道な ⑲知的な ⑳陽気な	

	<p>2 帰りの学活で記録の時間をとる。</p>	<p>○授業、清掃や諸活動において、生徒を常に意識をし、よいところを探して指摘する。</p>
<p>1</p>	<div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>自分の長所を考えよう</p> </div> <p>1 自分のよいところを探す。</p> <p>2 報告書を受け取る。</p> <p>3 ふり返り</p>	<p>○うまく探せない生徒には、教師が自己開示などをし、安心させる。</p> <p>○自分のよいところは分からなければ、①～⑳のキーワードでイメージさせる。</p> <p>○誰が見てくれたのかも気になるが、いいところを感じ取ることを中心にする。</p> <p>○本人が報告書をもらい、どんな気持ちになったかなどを話し合う。</p> <p>○新しい自分に気付かせる。</p>
<p>1</p>	<div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>自分のよいところを発表しよう</p> </div> <p>1 自己PR文を考える。</p> <p>2 30秒スピーチをする。</p> <p>3 感想を記入。</p>	<p>○自分のことを発表する大切さを教師の経験などから伝える。</p> <p>○友だちがよいところを見ている事を確認する。</p> <p>○発表をしっかりとできたことをお互いで評価する。</p>

Ⅲ 資料

(1) 「いいところ探偵」シート

いいところ探偵

組 番 名前

下のキーワードを参考に友だちのよいところを探して下さい。どんな場面を見て、そう思ったのか。一日の生活でしっかり覚えておいて、気づいたときや帰りの会の時間に記入しましょう。

①～⑳までの言葉でなくても、いい言葉を思いついたら書きましょう。

- ①責任感のある ②まじめな ③公平な ④根気強い ⑤心配りができる
 ⑥落ち着きのある ⑦親切的な ⑧礼儀正しい ⑨正直な ⑩素直な
 ⑪決断力のある ⑫頼りになる ⑬思いやりのある ⑭優しい ⑮誠実な
 ⑯てきぱきとした ⑰協力的な ⑱地道な ⑲知的な ⑳陽気な

例：

①責任感のある	広報委員会の仕事をサボらないでしっかりやっていたのを見ました。すごいと思いました。
---------	---

報 告 書

(名前 行 動) くん・さん

キーワード	行 動

(2)「自分の長所」記入用紙

私の長所を考えよう

組 番 名前

- ①責任感のある ②まじめな ③公平な ④根気強い ⑤心配りができる
⑥落ち着きのある ⑦親切的な ⑧礼儀正しい ⑨正直な ⑩素直な
⑪決断力のある ⑫頼りになる ⑬思いやりのある ⑭優しい ⑮誠実な
⑯てきぱきとした ⑰協力的な ⑱地道な ⑳陽気な

1 自分のよいところはどこだと思いますか。

--	--	--

なぜ？

2 友だちからの報告書を読んでどう思いましたか。

自分の思ったことや感じたことを話し合ってみよう

3 今日の感想(新しい自分が発見できましたか)

--

(3)「自分のよいところを発表しよう」記入用紙

自己PRをしてみよう

組 番 名前

1 友だちに言われた「よいところ」について自分自身で考えてみよう。

2 3年間、自分が頑張ってきたことや努力したこと、意識してきたことなどを書いてみよう。

3 自己PRを入れた30秒スピーチを考えてみよう。

.....

.....

.....

.....

.....

4 感想

(自分について)発表する前と後では気持ちに変化がありましたか。

(友だちについて)友だちの意見を聞いてどう思いましたか。

(全体の感想)

参考 グループ活動を効果的に進めるテクニック その2

バスグループ

全体でのディスカッションで意見が出ないような場合に有効な方法である。児童・生徒に、二人一組になって主題についてそれぞれ1, 2分間討議してもらい、その後、それぞれの間で出た意見を全体会で意見交換させる。

小グループ活動

小グループ活動は、全体活動と対照的なもので、だれもが参加できるように奨励し、協力的なチームワークを発展させる方法である。

児童・生徒に対して、「この問題について討議してください」と言うだけでは生産的な討議になることは困難である。主題が何であれ、活動目的がまず明確に定義され、小グループのメンバーは後で全体会で報告することを求められる活動目標を意識し、それを目指して討議することが必要である。

ランキング

特定の情報を提供しようとしたり、小グループで焦点化して討議を行うよう促すのに有効な方法である。

【方法】

- ・それぞれの小グループに声明文カードを1セットずつ準備する。(1セットは、9枚の声明文カードから成り立っているもの)
- ・それぞれのグループは、各声明文について議論し、次に、9つの声明文を重要さの順で並べる。並べ方は、はしご形でも、ダイヤモンド型でも構わない。しかし、学級全体で統一しておくことが大切である。

※はしご形ランキングの場合には、最も重要な声明文が最上段に置かれ、その下に2番目に重要なもの、3番目にその次に重要なものという順に並べ、最も重要でない声明文が一番下に位置づけられる。

※ダイヤモンド・ランキングの場合は、最も重要な声明文はどれであるか、その次に重要な声明文はどれとどれの2つか、中ぐらいの重要性の声明文はどれとどれとどれかの3つか、というように選び、9つの声明文をダイヤモンド型に位置づける。